

問 国保の県域化が もたらしたものは

答 一般会計法定外繰り入れはゼロに

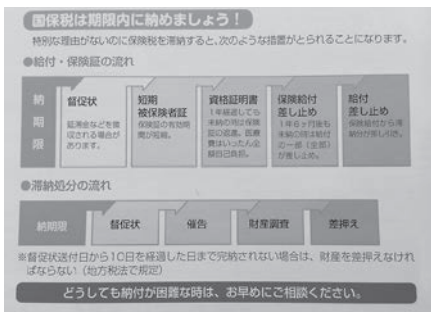


おおな みえ子 議員

問 県域化の狙いの一つ、一般会計からの法定外繰り入れへの対応は。
答 被用者保険加入者には二重の税負担になることや、交付金等の減額の根拠にもなるため法定外繰り入れは極力抑えたい。

問 選択肢はなかったのか。
答 平成31年度の納付金が平成30年度分法定外繰り入れを上回り減額したため、繰り入れを継続しなかった。また、今年度の税率改定は、医療費の伸びや、納付金の激変緩和措置額の通減を勘案したもので税率を引き下げる考えには至らなかった。

問 新年度も法定外繰り入れを継続し、税率を引き下げるといふ
答 平成31年度は、被保険者の減少や診療報酬の改定等により、保険給付費と国民健康保険事業費納付金が前年比で減少見込みのため計上していない。



「国保税を納めるのが大変! 税額を引き下げしてほしい」多くの声です。

問 体育館等に エアコンの設置を

答 エアコンは必要、前向きに考える



公明党
おかざき さとる 議員

問 避難所であり、地域の拠点でもある体育館やコミセン多目的ホールなどに、エアコンの整備を求める。
答 避難所施設へのエアコン整備は、施設ごとに異なる状況だが、避難所の暑さ寒さ対策は必要と考える。しかし、エアコンの施設整備は、多額の費用と維持費が掛かり、多角的な視点で検討が必要。現状では、災害時資器材供給に関する協定に基づき、スポットクーラーなど非常設型で対応したい。

問 他の自治体では、「地方債」を使った避難所体育館へのエアコン整備が進むものと考ええる。村でも検討する必要があると考えるが、再度考えを伺う。
答 利用者目線で暑さ寒さ対策は、平時・災害時に関わらず、必要と考える。施設の性格や建物構造上の課題、導入手法等を勘案して、対応を考えたい。

問 村長はどのように考えているか。
答 昨年夏の暑さを経験して、普段使っているコミセン・体育館にも、熱中症対策・エアコンの整備が必要であるため、前向きに考えたい。



災害時避難所となる
コミセン多目的ホール